

第3回みえ県民1万人アンケートの集計結果全体（概要）について

「強じんな美し国ビジョンみえ」では、“県民の皆さんが未来に希望をもち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域”を目指すこととしており、県民の皆さんの「生活の満足度」を把握し、県政運営に活用するため、1万人の県民の皆さんを対象に実施しました。

今回、令和6年12月から令和7年1月にかけて実施した「第3回みえ県民1万人アンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

I 調査の概要等

- 1 調査期間 令和6年12月～令和7年1月
- 2 調査方法 県内に居住する18歳以上の10,000人に対する郵送アンケート
調査票の回収は、記入した調査票の返送又はインターネットでの回答
- 3 有効回答数 4,592人、有効回答率45.9%
(郵送回答64.5%、Web回答35.5%)
- 4 調査項目
 - ・生活の満足度
 - ・県が注力している取組に関すること
 - ▶「防災」「結婚」「子ども・子育て支援」「ジェンダーギャップの解消」「人材確保」「共生社会」「観光」「デジタル」「公共交通」「公共ライドシェア」
 - ・回答者の属性に関すること
 - ・自由意見

5 その他

第3回みえ県民1万人アンケートの集計結果をまとめた報告書は、4月16日（水）に県ホームページに掲載する予定です。また、5月中旬頃に県庁や各県庁舎（地域防災総合事務所、地域活性化局等）に配置する予定です。

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki/>

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、共働き、世帯収入、地域の8つとしています。

(2) 回答者属性の構成比について、第2回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、「女性」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・年齢別では、「18歳から20歳代」、「30歳代」の割合が前回調査より高く、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」の割合が低くなっています。
- ・配偶関係別では、「未婚」の割合が前回調査より高く、「有配偶」、「死別・離別」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「未婚」の割合が前回調査より高く、「有配偶」、「死別・離別」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「単身世帯」、「一世代世帯」の割合が前回調査より高く、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」、「その他世帯」の割合が低くなっています。
- ・主な職業別では、「パート・バイト・派遣」、「その他の職業」、「学生」、「無職」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・世帯収入別では、「～300万円未満」、「～400万円未満」、「～500万円未満」、「～800万円未満」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・地域別では、「北勢地域」、「伊勢志摩地域」、「東紀州地域」の割合が前回調査より高く、「伊賀地域」の割合が低くなっています。

図表1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比 (%)		(前回差)
			今回	前回	
性別	男性	2,030	44.2	45.7	△ 1.5
	女性	2,496	54.4	52.9	1.5
	その他	14	0.3	0.3	△ 0.0
	不明	52	1.1	1.1	△ 0.0
年齢	18歳から20歳代	357	7.8	6.6	1.2
	30歳代	500	10.9	9.5	1.4
	40歳代	728	15.9	16.5	△ 0.6
	50歳代	899	19.6	20.4	△ 0.8
	60歳代	1,021	22.2	22.5	△ 0.3
	70歳以上	997	21.7	22.5	△ 0.8
	不明	90	2.0	1.9	0.1
配偶関係	未婚	761	16.6	14.7	1.9
	有配偶	3,298	71.8	74.2	△ 2.4
	死別・離別	427	9.3	9.5	△ 0.2
	不明	106	2.3	1.5	0.8
世帯類型	単身世帯	381	8.3	8.0	0.3
	一世代世帯	1,556	33.9	33.0	0.9
	二世帯世帯	2,202	48.0	48.5	△ 0.5
	三世帯世帯	367	8.0	8.4	△ 0.4
	その他世帯	28	0.6	1.0	△ 0.4
主な職業	農林水産業	82	1.8	1.9	△ 0.1
	自営業・自由業	373	8.1	8.5	△ 0.4
	正規職員	1,531	33.3	33.4	△ 0.1
	パート・バイト・派遣	1,013	22.1	20.8	1.3
	その他の職業	159	3.5	3.4	0.1
	学生	114	2.5	2.1	0.4
	専業主婦・主夫	464	10.1	11.4	△ 1.3
	無職	802	17.5	17.2	0.3
	不明	54	1.2	1.4	△ 0.2
共働き	している	1,963	42.7	41.5	-
	していない	2,495	54.3	55.4	-
	不明	134	2.9	3.1	-
世帯収入	100万円未満	160	3.5	4.1	△ 0.6
	～200万円未満	386	8.4	9.0	△ 0.6
	～300万円未満	674	14.7	13.3	1.4
	～400万円未満	599	13.0	12.0	1.0
	～500万円未満	482	10.5	9.7	0.8
	～600万円未満	416	9.1	9.4	△ 0.3
	～800万円未満	631	13.7	13.2	0.5
	～1,000万円未満	378	8.2	8.9	△ 0.7
	1,000万円以上	406	8.8	9.2	△ 0.4
	わからない	403	8.8	9.5	△ 0.7
	不明	57	1.2	1.6	△ 0.4
有効回答数	4,592	100.0	100.0		

図表2 回答者の属性（地域）

属性	地域	属性項目	件数	構成比 (%)			(前回差)
				今回 (市町別)	今回 (地域別)	前回	
市町	北勢地域	桑名市	393	8.6	46.7	46.6	0.1
		いなべ市	139	3.0			
		四日市市	784	17.1			
		鈴鹿市	479	10.4			
		亀山市	115	2.5			
		木曽岬町	11	0.2			
		東員町	61	1.3			
		菰野町	110	2.4			
		朝日町	29	0.6			
		川越町	27	0.6			
	伊賀地域	伊賀市	226	4.9	9.5	10.2	△ 0.7
		名張市	212	4.6			
	中南勢地域	津市	713	15.5	27.0	27.0	0.0
		松阪市	404	8.8			
		多気町	44	1.0			
		明和町	55	1.2			
		大台町	24	0.5			
	伊勢志摩地域	伊勢市	285	6.2	12.2	12.1	0.1
		鳥羽市	36	0.8			
		志摩市	123	2.7			
		玉城町	36	0.8			
		度会町	23	0.5			
		大紀町	24	0.5			
	東紀州地域	南伊勢町	30	0.7	4.5	3.8	0.7
		尾鷲市	44	1.0			
		熊野市	43	0.9			
紀北町		37	0.8				
御浜町		17	0.4				
紀宝町		34	0.7				
不明	34	0.7					
有効回答数			4,592	100.0	100.0	100.0	

II 集計結果（概要）

I 生活の満足度について

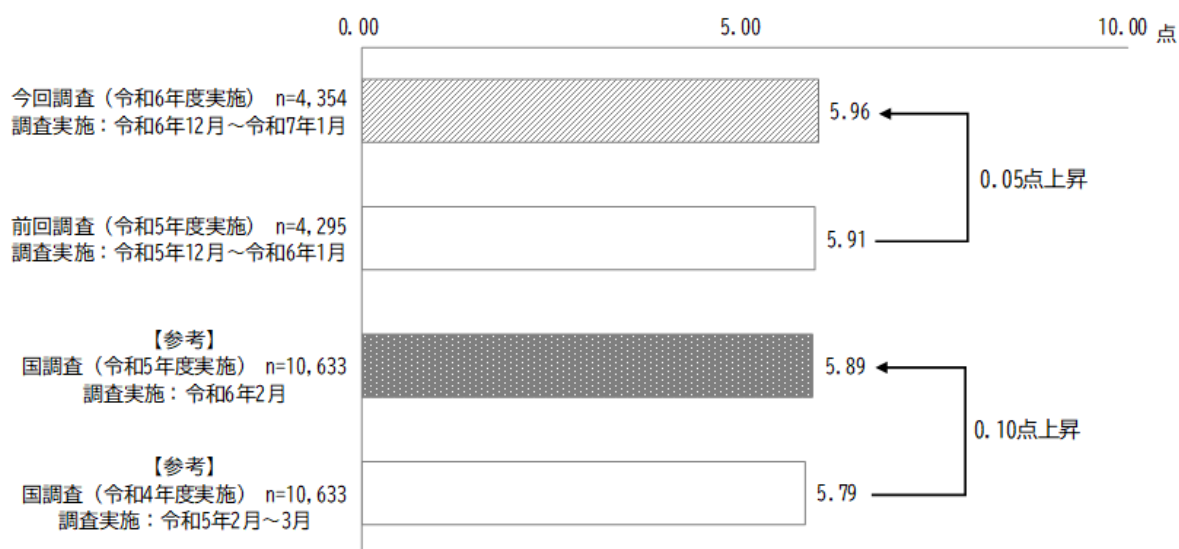
(1) 現在の生活の満足度

問 I あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点とすると、何点くらいになるとおもいますか。

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10 点満点で質問したところ、平均値は 5.96 点で、前回調査より 0.05 点高くなっています。

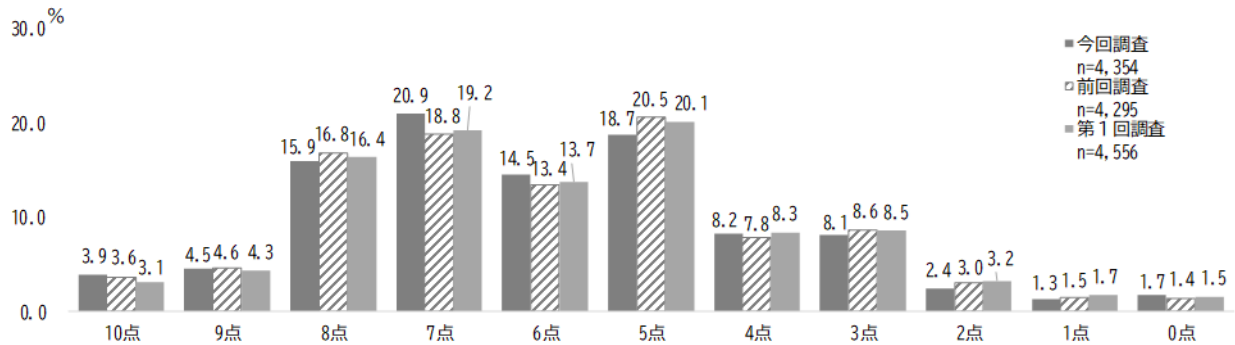
図表 3 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約 10,000 人へのインターネット調査（うち約 5,500 人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が20.9%と最も高く、次いで「5点」が18.7%、「8点」が15.9%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「7点」と「5点」の順位が入れ替わりました。

図表4 生活の満足度の分布（過去調査との比較）



(2) 14分野別の満足度

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。

- ①家計と資産
- ②あなた自身の給料や報酬・賃金
- ③仕事のやりがいや生活とのバランス
- ④健康状態
- ⑤医療サービス
- ⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ
- ⑦子育てのしやすさ
- ⑧子どもの教育
- ⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
- ⑩身のまわりの自然環境
- ⑪自然災害への備え
- ⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全
- ⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい
- ⑭移動手段、交通の便利さ

○ 選択肢はいずれの質問も下記の通りです。

5 満足 4 どちらかといえば満足 3 ふつう

2 どちらかといえば不満 1 不満 0 わからない・あてはまらない

- 「14分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、全体としての生活の満足度を把握します。
- 生活の幅広い範囲について包括的に評価できる体系として総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した14分野で設定した質問となっています。

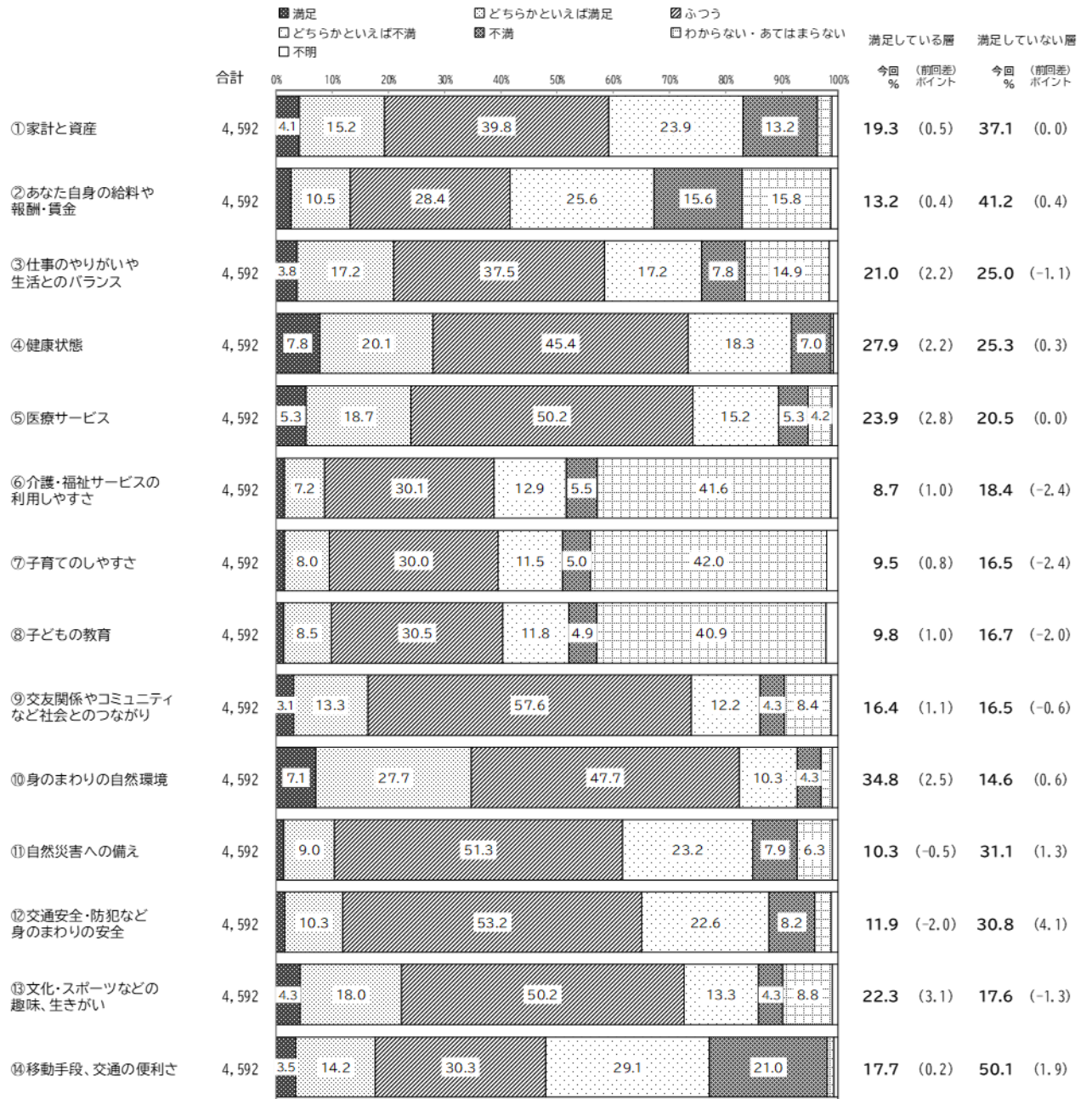
【「満足している層」の割合】

- 14分野別の満足度について、5点満点で質問したところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が34.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」(27.9%)、「⑤医療サービス」(23.9%)の順となっています。

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が50.1%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」(41.2%)、「①家計と資産」(37.1%)の順となっています。

図表5 14分野別の満足度（一覧）



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

2 県が注力している取組に関することについて

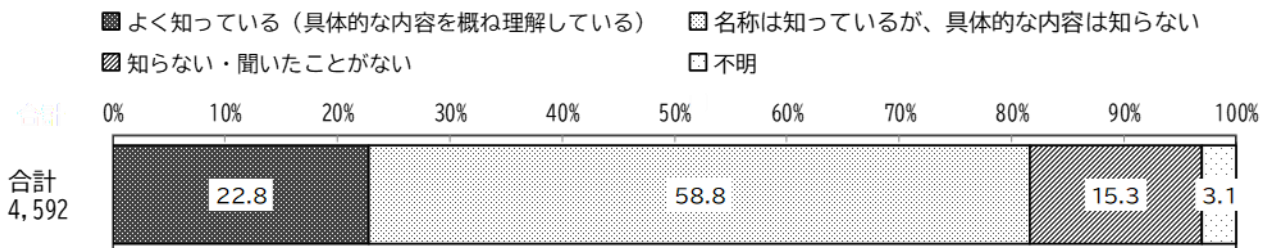
- 県が注力している取組については、「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでおききました。

○ 災害について

問3 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報*」の運用を開始しており、今年8月8日に、運用を開始してから初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。
あなたはこの情報について、どの程度知っていますか。

- 「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているかについて質問したところ、「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」が58.8%で最も高く、次いで「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」(22.8%)、「知らない・聞いたことがない」(15.3%)となっています。

図表6 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度

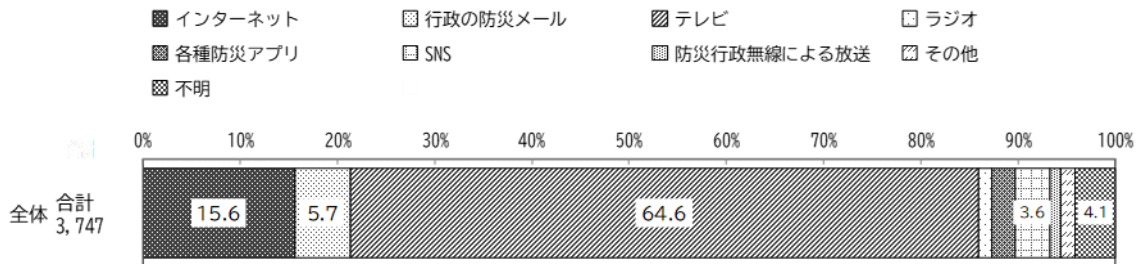


※本質問の回答割合 (%) は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 3-2 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知りましたか。

- 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったかについて質問したところ、「テレビ」が64.6%で最も高く、次いで「インターネット」(15.6%)、「行政の防災メール」(5.7%)となっています

図表7 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか

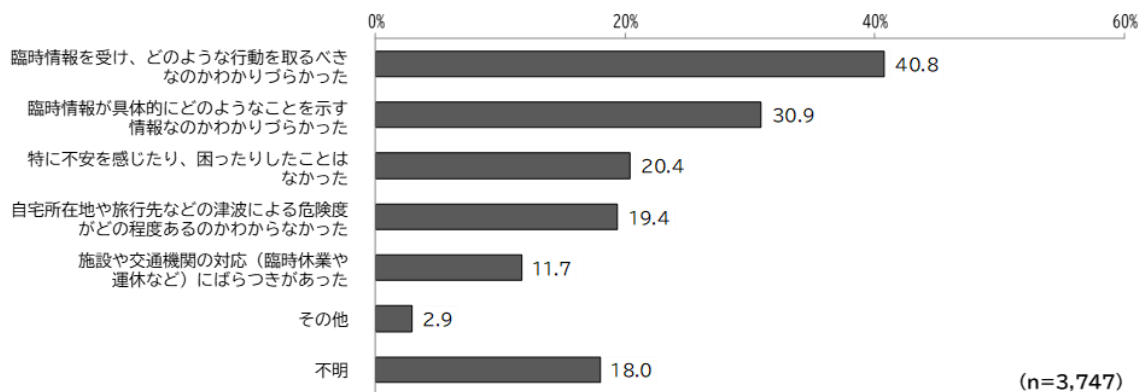


※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問 3-3 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはありませんでしたか。次の中から、あてはまるものを選んでください。

- 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことがあったかについて質問したところ、「臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった」が40.8%で最も高く、次いで「臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった」(30.9%)、「自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった」(19.4%)となっています。なお、「特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった」が20.4%となっています。

図表8 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか



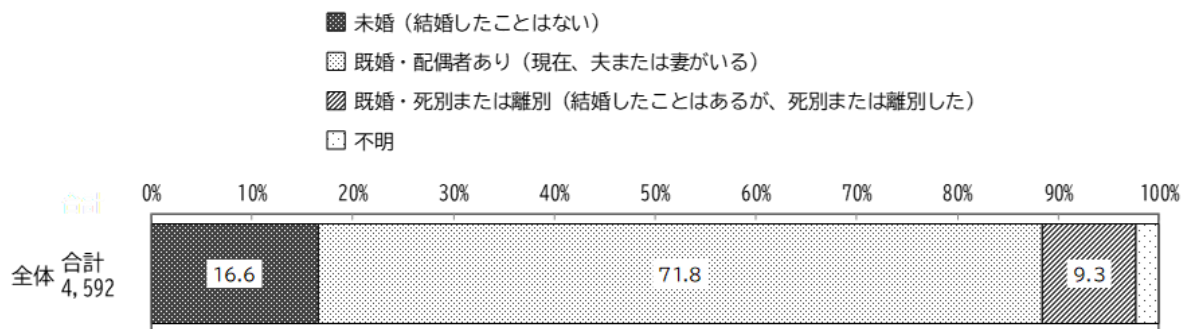
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

○ 結婚について

問4 あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

○ 回答者の配偶関係は、「未婚」が16.6%、「有配偶」が71.8%、「死別または離別」9.3%となっています。

図表9 配偶関係

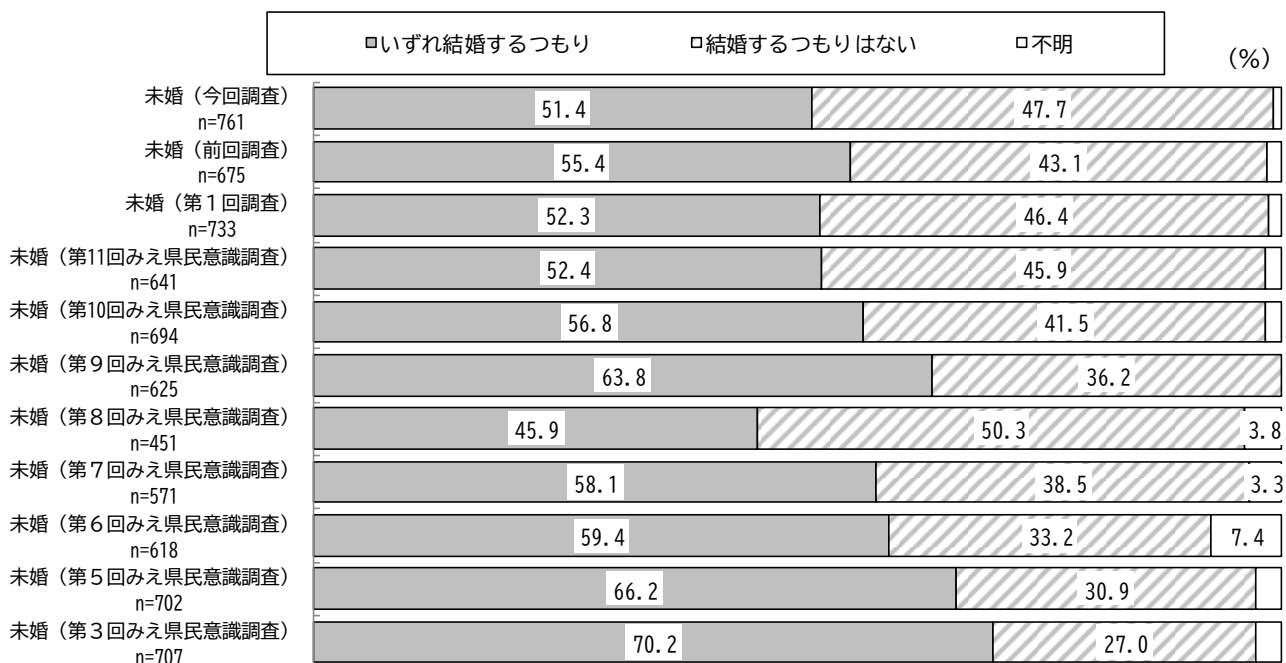


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問4-2 これまでに結婚したことがない方 (問4で「未婚」を選んだ方) におきします。
今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

○ 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が51.4%、「結婚するつもりはない」が47.7%となっています。

図表10 未婚の方の結婚に対する考え方



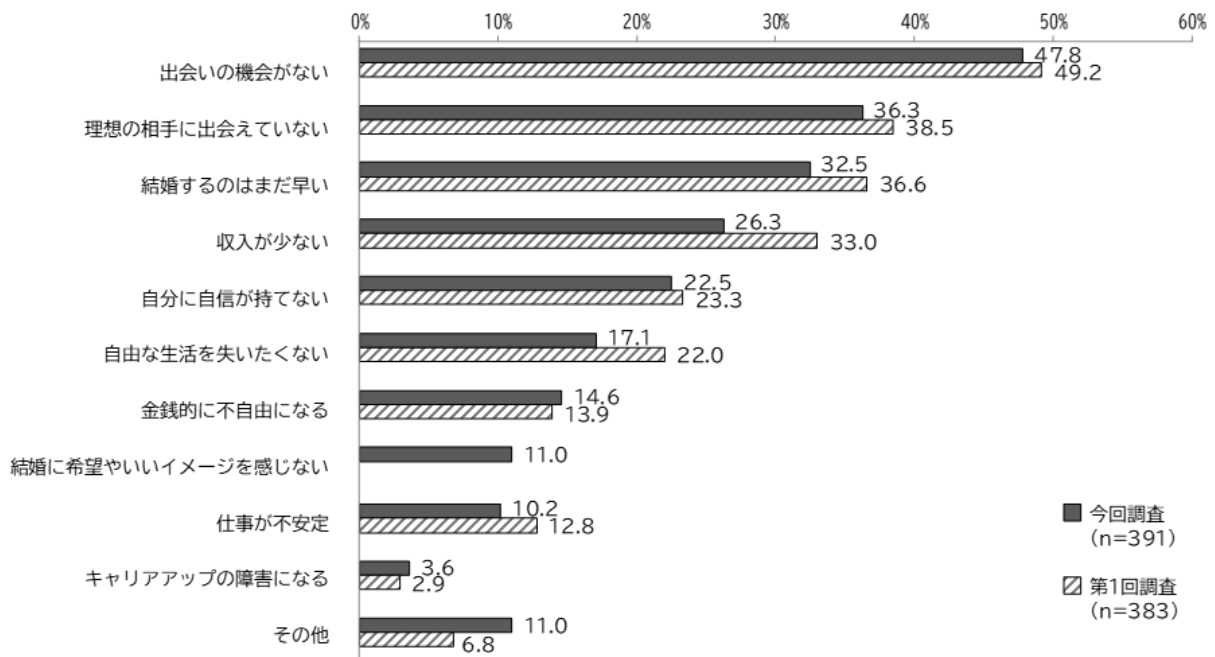
※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問4-3 問4で「いずれ結婚するつもり」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか

○ 現在、結婚していない理由について、「出会いの機会がない」が47.8%、「理想の相手に出会えていない」が36.3%となっています。

図表11 現在、結婚していない理由



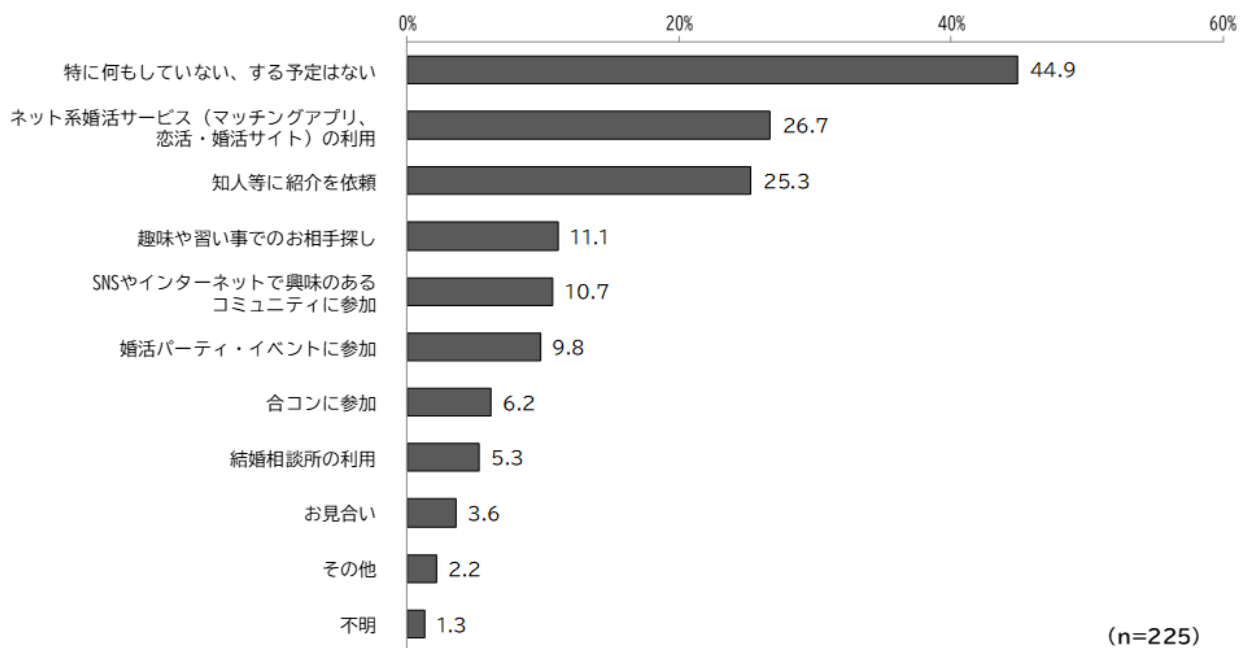
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問4-4 問4-3で「出会いの機会がない」または「理想の相手に出会っていない」を選んだ方におききます。

ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

- 結婚相手を探すための方法について、「特に何もしていない、する予定はない」が44.9%、「ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用」が26.7%となっています。

図表12 結婚相手を探すための方法



※本質問の回答割合 (%) は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

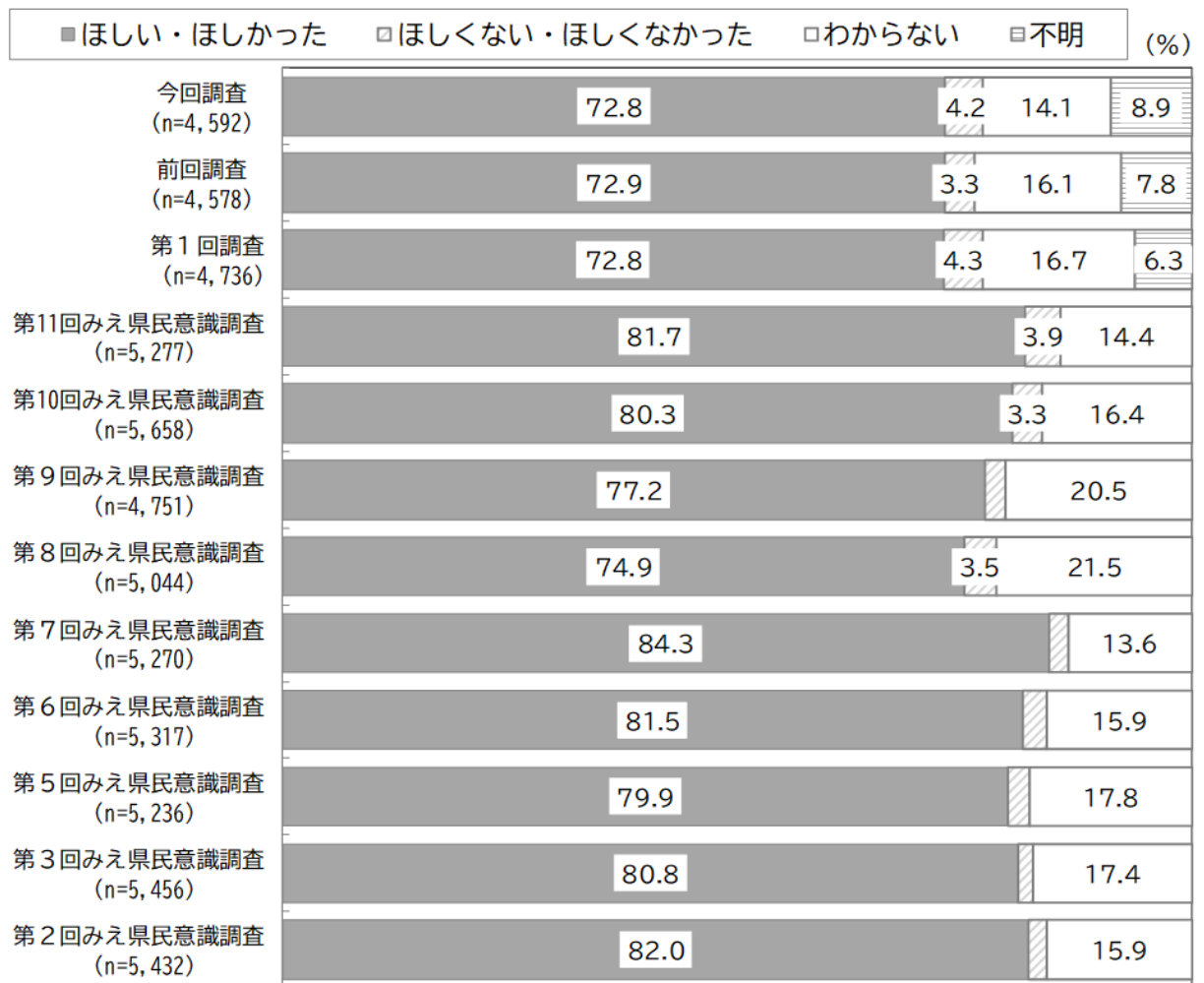
○ 子ども・子育て支援について

問5 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。

➤ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「ほしい・ほしかった」の割合は72.8%で、前回調査より0.1ポイント低くなっています。

図表13 子どもを希望する割合

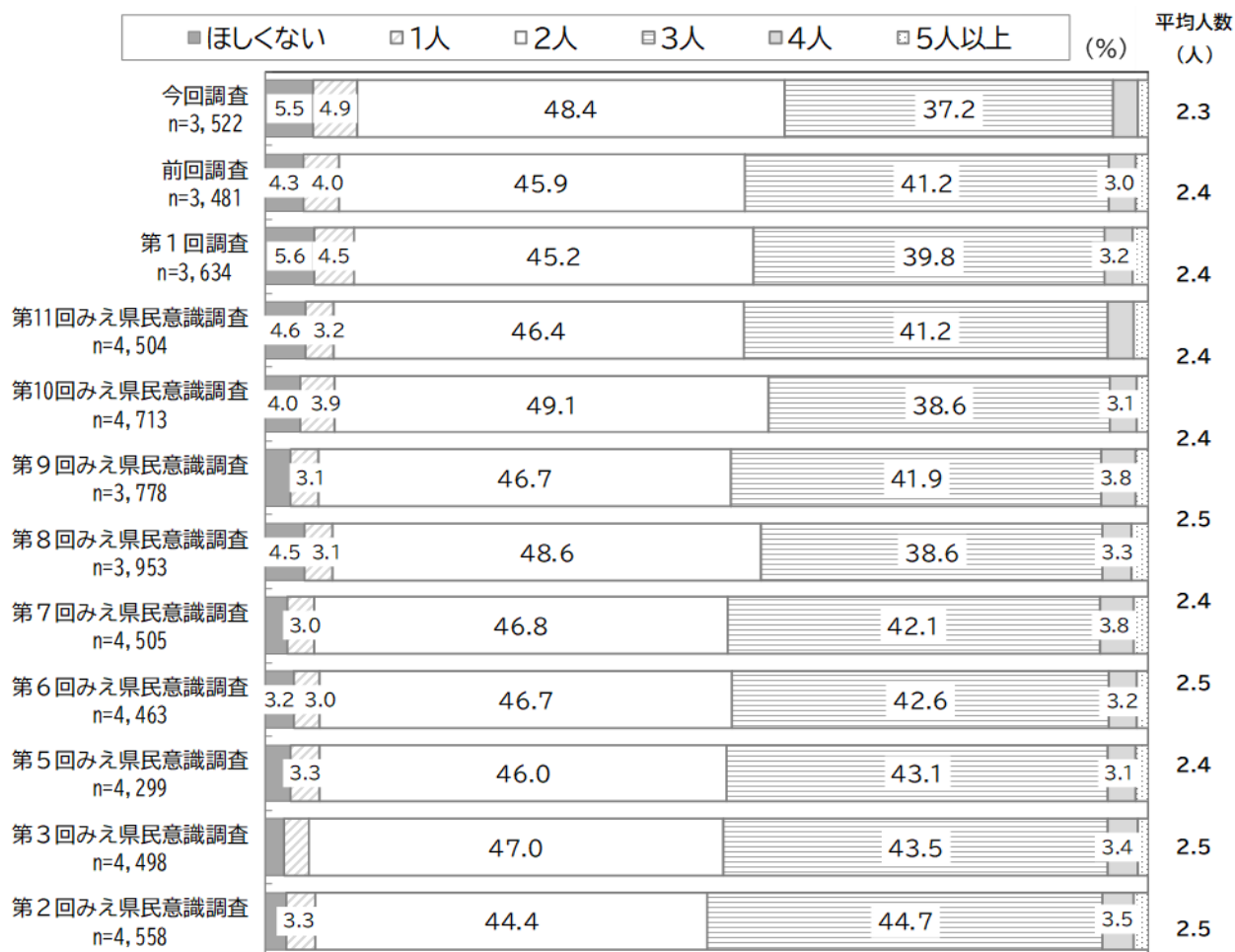


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子どもの数

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が48.4%で最も高く、次いで「3人」(37.2%)となっています。前回調査と比較すると「2人」の割合は2.5ポイント高く、「3人」の割合は4.0ポイント低くなっています。

図表14 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出
 ※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

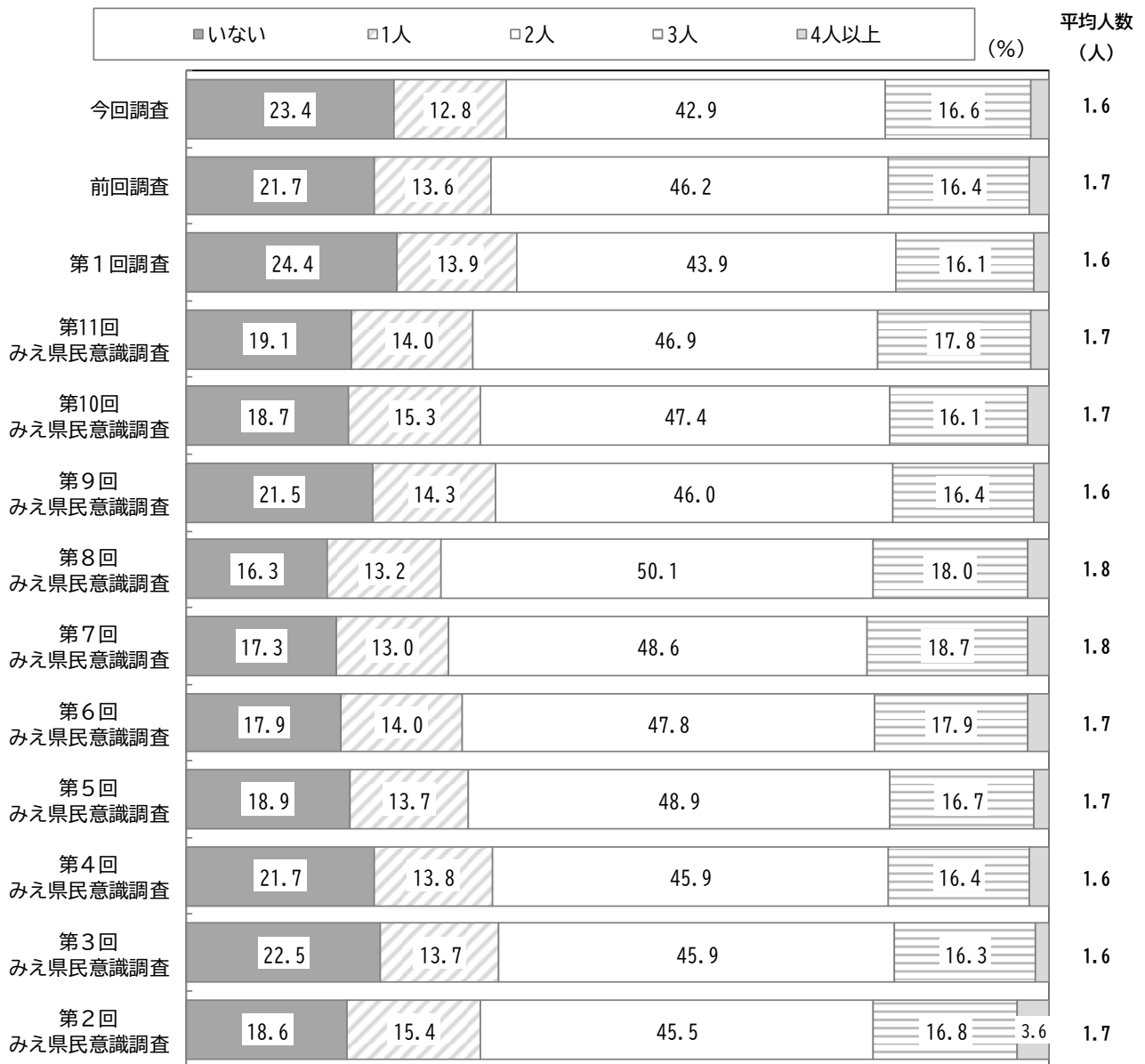
問6 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が42.9%、「いない」が23.4%、「3人」が16.6%、「1人」が12.8%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人で、前回調査より0.1ポイント低くなっています。

図表15 子どもの数

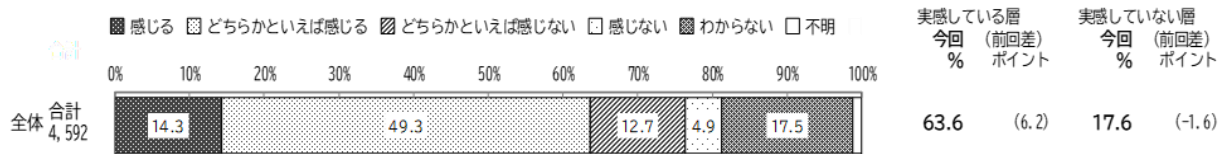


※ 「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

問7 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

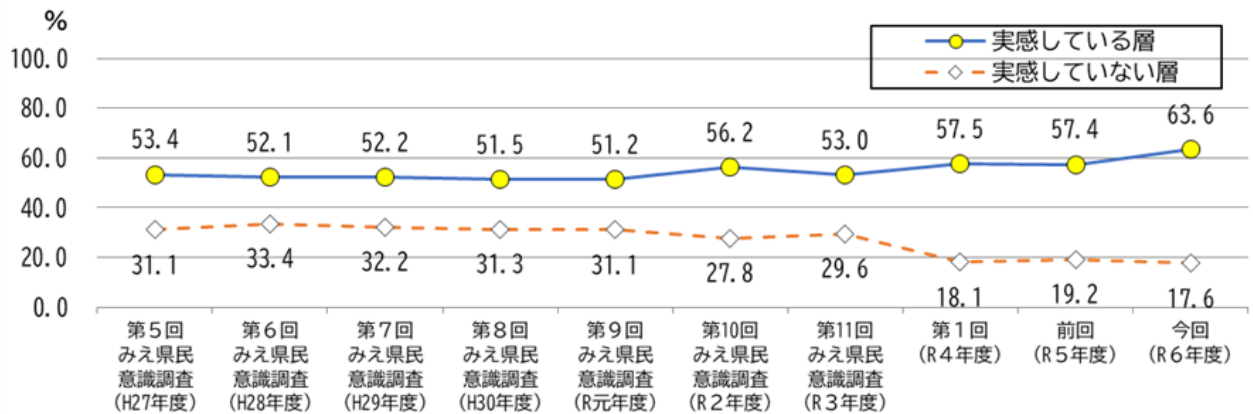
- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるかについて質問したところ、「実感している層」が63.6%で、「実感していない層」(17.6%)より46.0ポイント高くなっています。

図表16 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

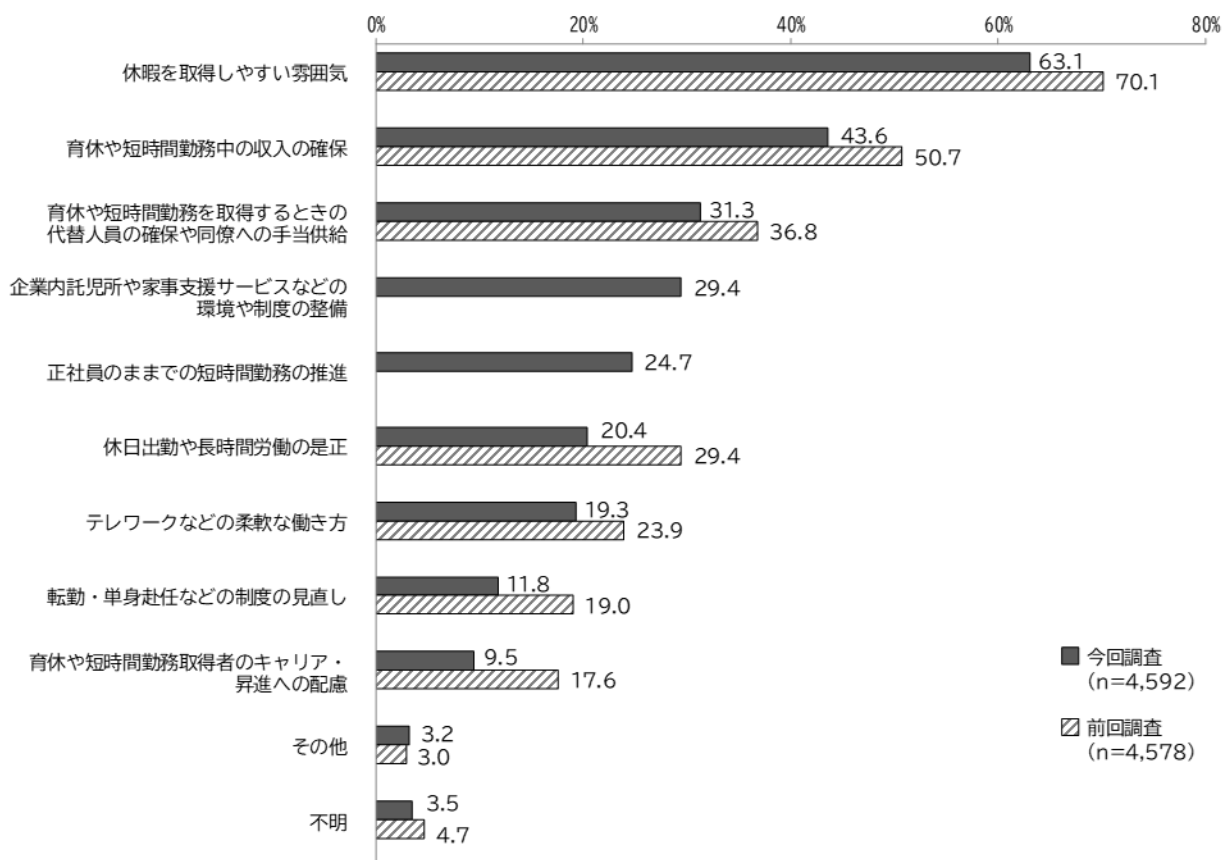
図表17 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



問 8 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。

- 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策について質問したところ、「休暇を取得しやすい雰囲気」の割合が63.1%で最も高く、次いで「育休や短時間勤務中の収入の確保」(43.6%)、「育休や短時間勤務を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当供給」(31.3%)となっています

図表 18 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策



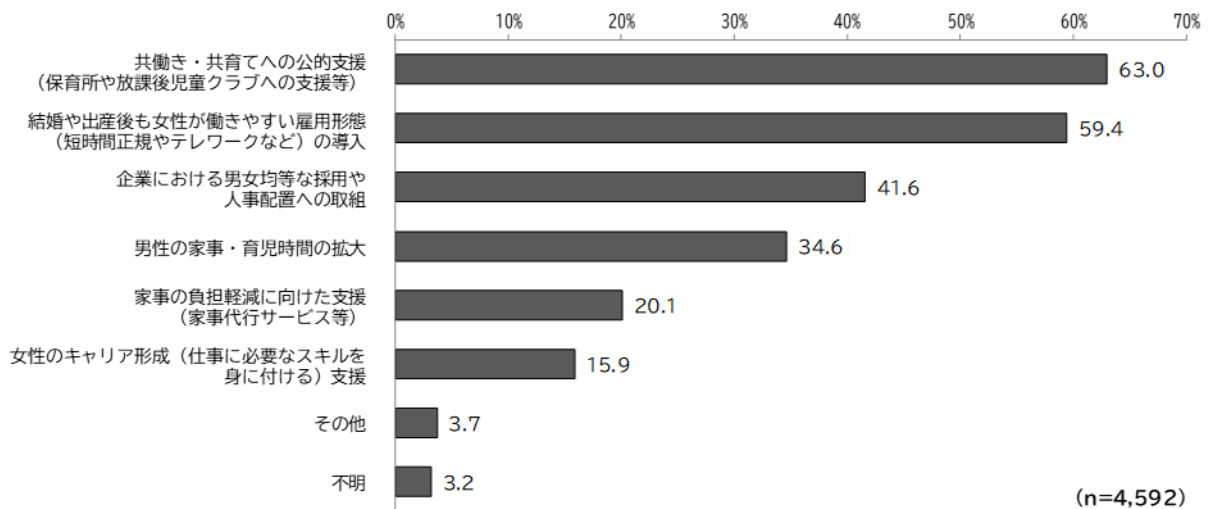
※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

○ ジェンダーギャップの解消について

問9 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、あなたは、今後どのようなことを進めていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 働く場などにおけるジェンダーギャップ(男女の違いにより生じる格差)の解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきかについて質問したところ、「共働き・共育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）」の割合が63.0%で最も高く、次いで「結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入」（59.4%）、「企業における男女均等な採用や人事配置への取組」（41.6%）となっています。

図表19 ジェンダーギャップの解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきか



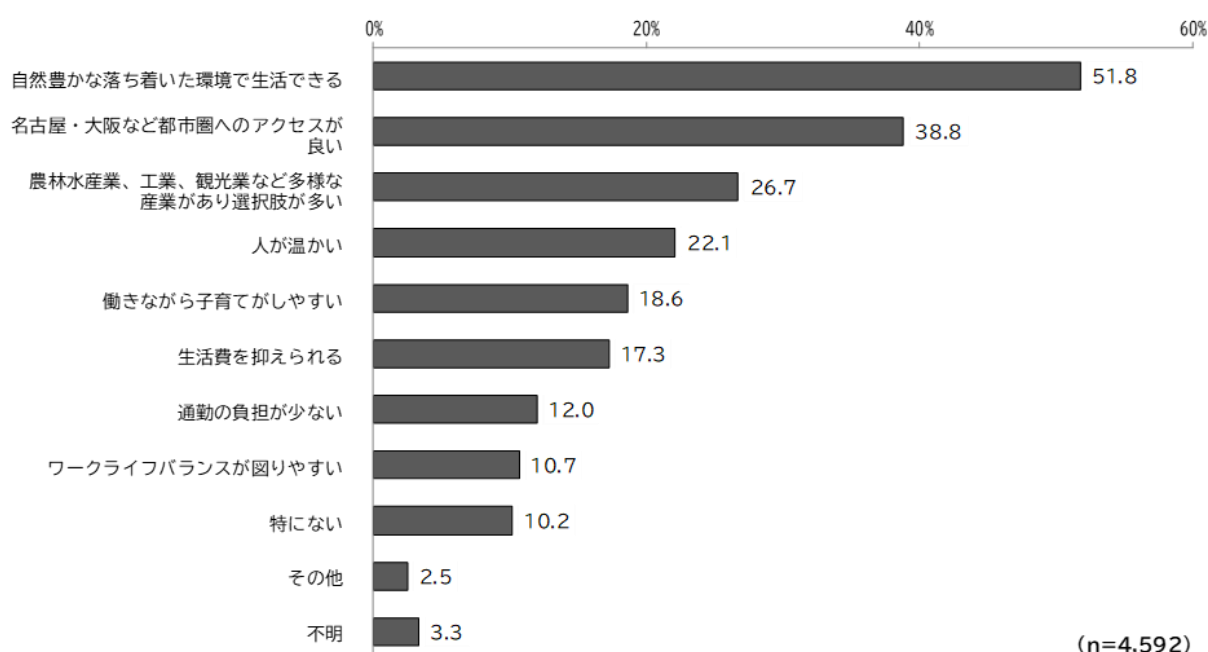
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

○ 人材確保について

問10 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

○ 三重県で働く方を増やすために、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うかについて質問したところ、「自然豊かな落ち着いた環境で生活できる」が51.8%で最も高く、次いで「名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い」(38.8%)、「農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い」(26.7%)となっています。

図表20 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか



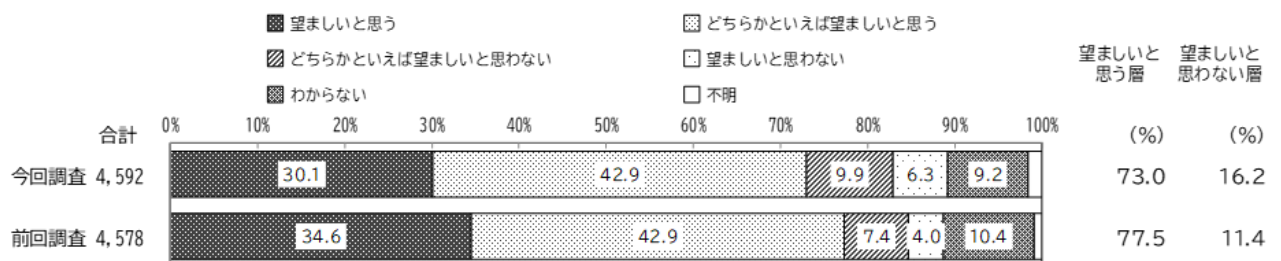
※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

○ 共生社会について

問11 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が73.0%で、「望ましいと思わない層」の割合(16.2%)より56.8ポイント高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「望ましいと思う層」が4.5ポイント減少し、「望ましいと思わない層」が4.8ポイント増加しています。

図表21 共生社会についてどう思うか



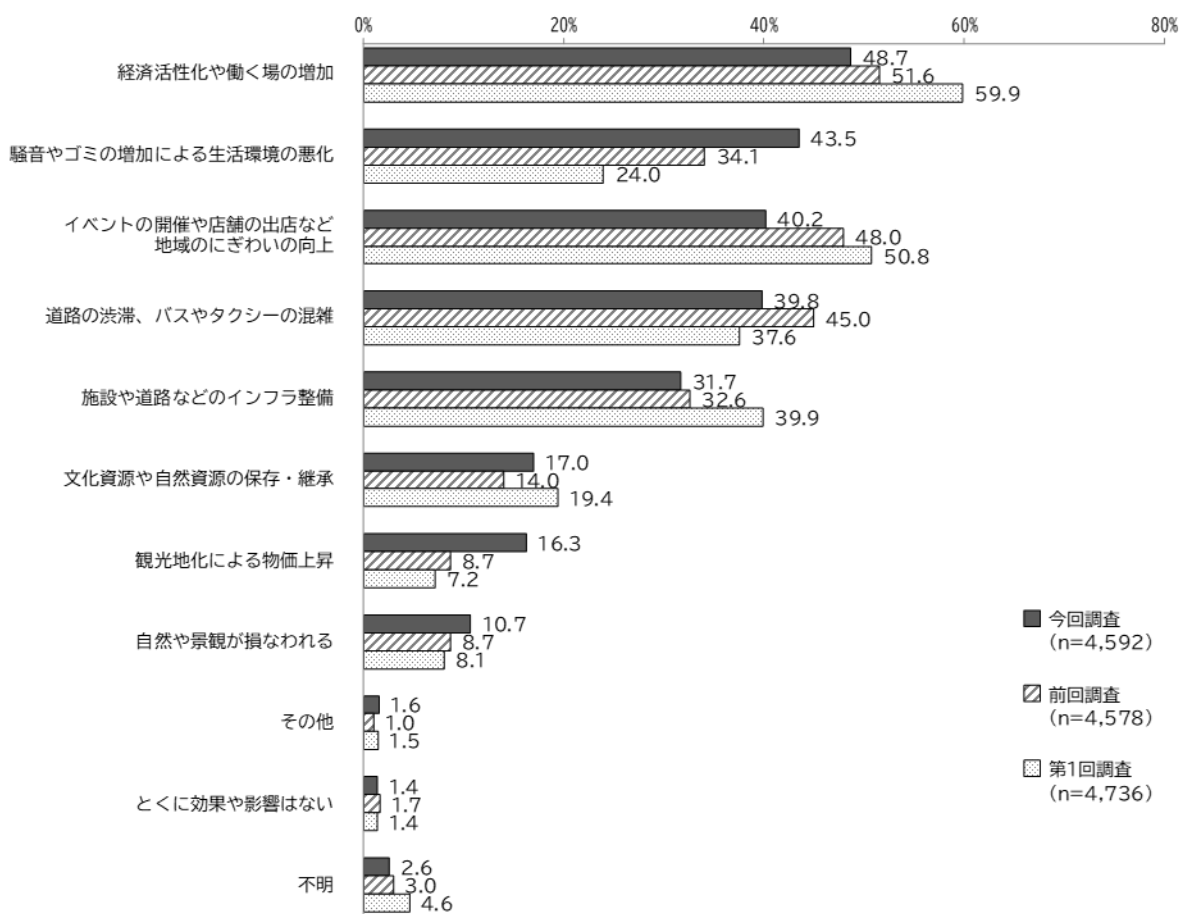
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

○ 観光について

問12 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が48.7%で最も高く、次いで「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、主に「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「観光地化による物価上昇」(16.3%)が増加し、「経済活性化や働く場の増加」(48.7%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)、「施設や道路などのインフラ整備」(31.7%)が減少しています。

図表22 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



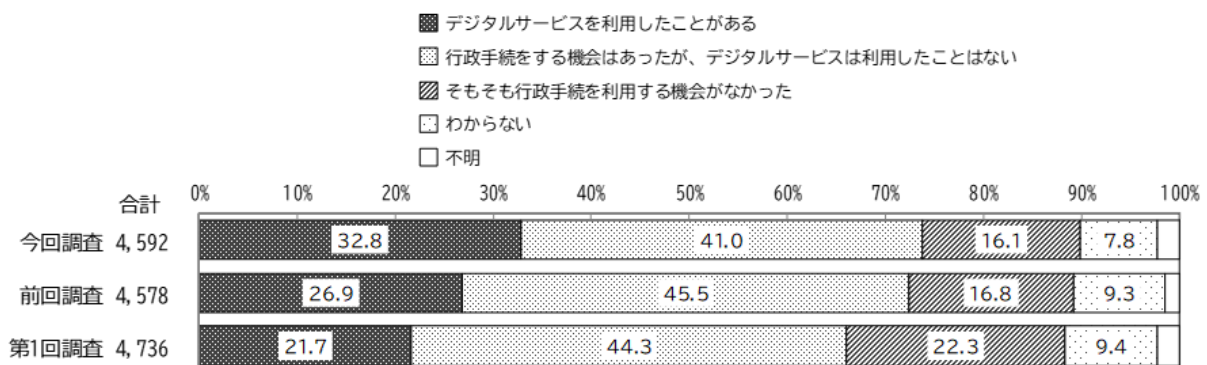
※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

○ デジタルの活用について

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が41.0%で最も高く、次いで「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)は第1回調査から増加傾向にあり、第2回調査からは5.9ポイント増加しています。「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(41.0%)は第2回調査から4.5ポイント減少、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)は0.7ポイント減少しています。

図表23 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか



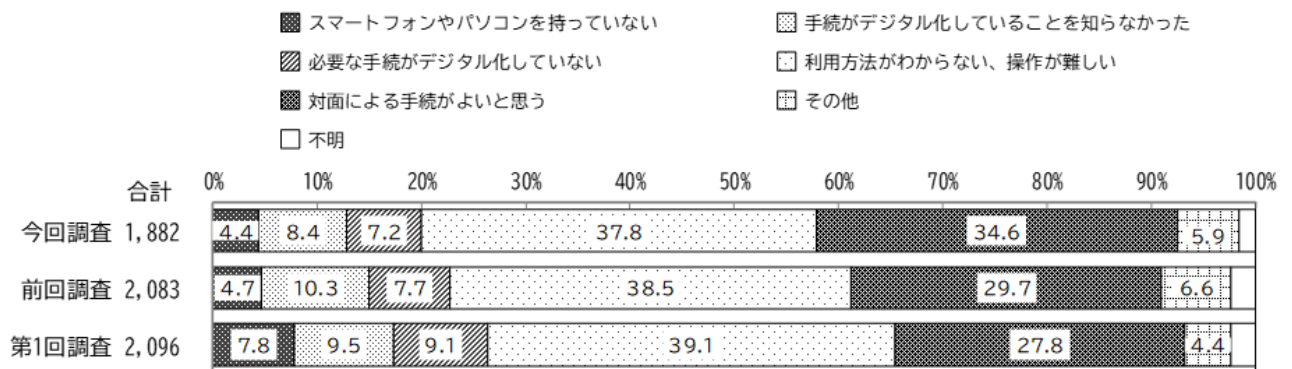
※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問 13-2 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

○ 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が37.8%で最も高く、次いで「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)、「手続きがデジタル化していることを知らなかった」(8.4%)となっています。

○ 過去の調査と比較すると、「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)は第1回調査より増加傾向にあり、第2回調査からは4.9ポイント増加しています。「利用方法がわからない、操作が難しい」(37.8%)は第1回調査より微減傾向にあります。

図表24 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」を分母に含めず算出

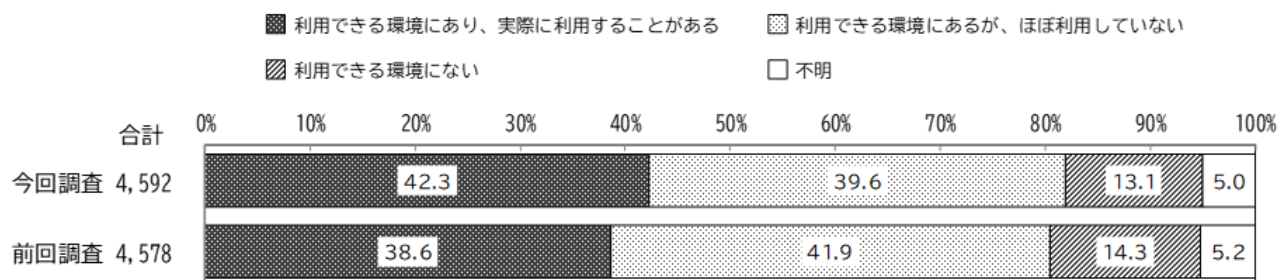
○ 公共交通について

問14 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

○ お出かけの際に、鉄道を利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」が42.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)、「利用できる環境にない」(13.1%)となっています。

○ 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(42.3%)は3.7ポイント増加しています。「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)は2.3ポイント減少しています。

図表25 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】

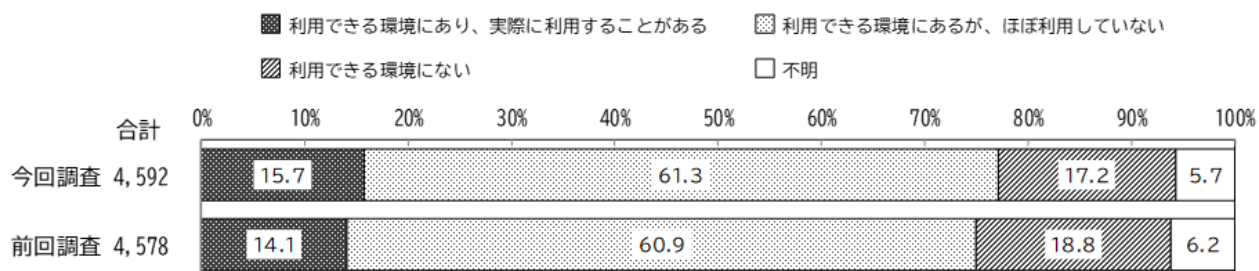


※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」を分母に含めず算出

○ お出かけの際に、バスを利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」が61.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にない」(17.2%)、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)となっています。

○ 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(61.3%)が引き続き最も高くなっています。「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)は1.6ポイント増加、「利用できる環境にない」は1.6ポイント減少しています。

図表26 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】



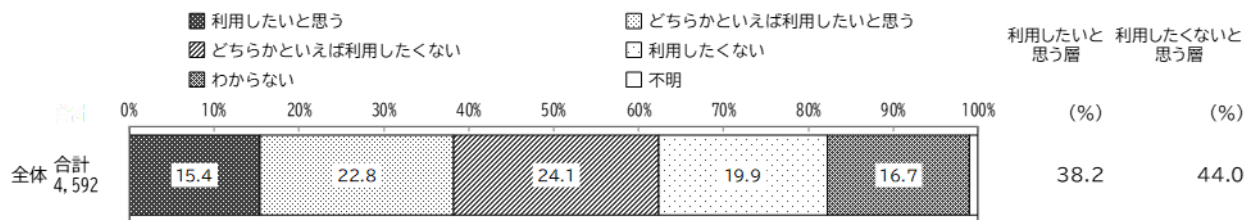
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」を分母に含めず算出

○ 公共ライドシェアについて

問15 あなたは、お住まいの市町が、タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを実施した場合、利用したいと思いますか。

○ タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地まで送迎してくれるサービスを利用したいと思うかについて質問したところ、「利用したいと思う層」の割合が 38.2%で、「利用したいと思わない層」の割合（44.0%）より 5.8 ポイント低くなっています。

図表 27 公共ライドシェアサービスの利用意向



※ 「利用したいと思う層」の割合：「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※ 「利用したいと思わない層」の割合：「利用したくない」と「どちらかといえば利用したくない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※ 本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出